

令和2年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	山口大学	タイプ	A①
事 業 名	アジア・アフリカにおける One Health 問題の解決に向けた感染症対策を担う獣医師育成プログラム		
海外の相手大学	ナイロビ大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、獣医学の国際化を目指し、これまでの実績に加えてヒトのみならず食料としての動物の感染症に対応できる獣医師の育成を通して、アフリカ諸国の貧困や食糧不足に対応しようとする意欲的な取組であるとともに、その展開にあたっては、貴学の共同獣医学部におけるインドネシアやスペインをはじめとしたアジア・欧州の獣医学部との国際連携実績を活かした体制で実施する計画となっており、高く評価できる。また、獣医師を志す日本人学生が日本では既に見られない感染症が存在するアフリカ諸国で研鑽を積む意義は大きく、外国人留学生は日本の研究や診療から学ぶものは多いと考えられる。貴学の共同獣医学部は、国際的な獣医学教育認証機関である欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）の認証を取得するなど獣医学教育の質保証がなされているとともに、学生が卒業後すみやかに能力を発揮できるよう、基礎・臨床獣医学における現場での実習を充実させるなど、人材育成に期待できる。また、学生の支援体制に関して、学生の長期相互交流を可能とするためチューター制度を充実させるとともに、2016年度にYU国際シェアハウスを整備し、外国人留学生と日本人学生の混住により生活面のサポート体制を強化するなど、充実が図られている。

一方で、国内外で獣医学教育を行う他大学との連携のあり方や、大学全体の国際化に対する本事業の位置付けについては、今後の事業展開に伴い明確にしていくことに加え、日本側、アフリカ諸国側の参加大学の拡大についても検討が求められる。派遣・受入とも短期のプログラムであるが、本事業の目的である長期的な人材育成に留意して実施する必要がある。また、コロナ禍にあることから、オンラインシステムを用いた計画がなされているが、経費の執行については十分な検討が望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国・地域との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。